

## 海洋リゾート地比較

### 1 概要

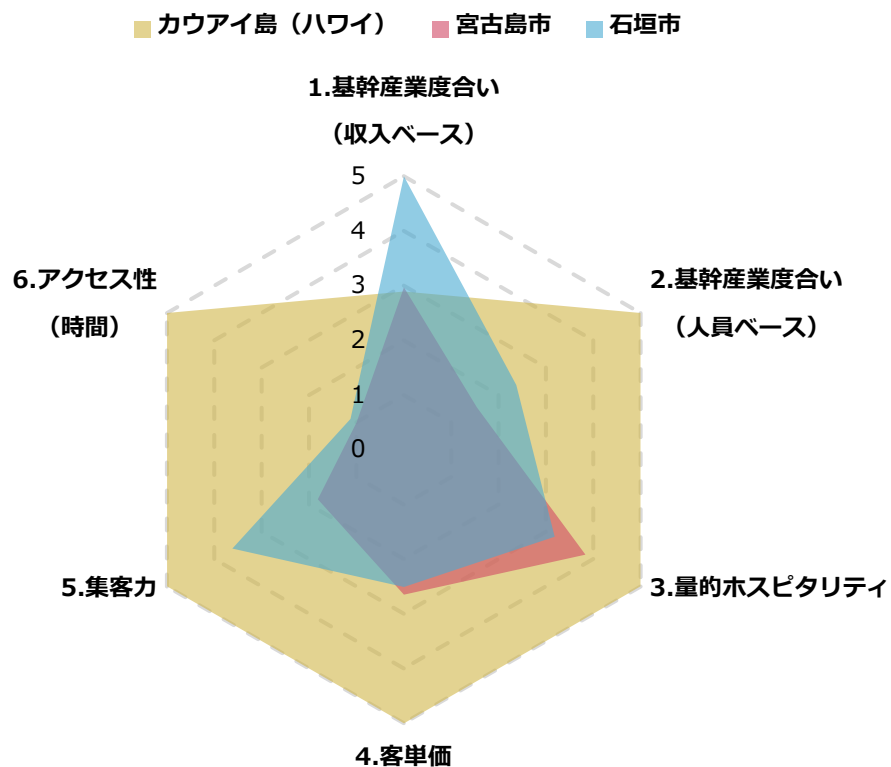
観光が地域間競争であることを鑑みれば、競合となり得る地域や、参考にしたい都市としての類似性を有する地域との諸条件の比較は極めて重要である。

そこで、これらを客観的なデータに基づき可視化すべく、観光産業の収入や従事者、全産業に占める割合等、いくつかのデータを組み合わせて算出した便宜上の6つの指標から独“観光地力”※をスコア化し、競合地域として宮古島市、参考地域としてハワイ州カウアイ島との比較を図った。

相対的にみると多くの項目でカウアイ島の高スコアが目立つ結果となった。そのようななかで、本市も集客力の面で高スコアを記録したが、持続可能な観光の在り方を考慮すると、今後の量から質への転換を図ることで、客単価を上げてバランスをとることの必要性も窺える結果となった。

※ 一般的に広く周知されている定義や尺度ではなく、本市観光基本計画検討にあたっての独自の考え方

### 観光地力



※ 3都市のうち最も高い数値をフルスコア（5pt）とする係数を乗じ算出

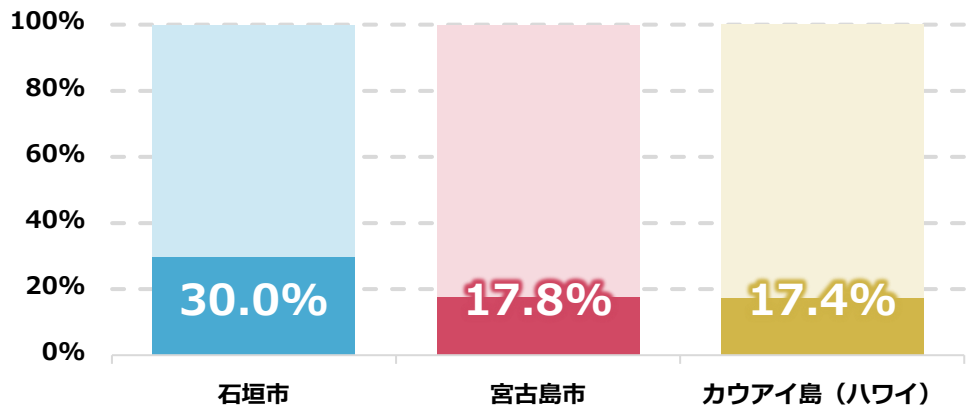
※アクセス性のみ低い方が高スコア

## 2 項目別比較

### (1) 基幹産業度合い（収入ベース）

全産業収入に占める観光関連産業収入の割合は、本市が最も高く、宮古島市とカウアイ島は同程度となっている（ただし実数においてはカウアイ島が1桁大きい規模の水準にある）。

#### 1. 基幹産業度合い（収入ベース）

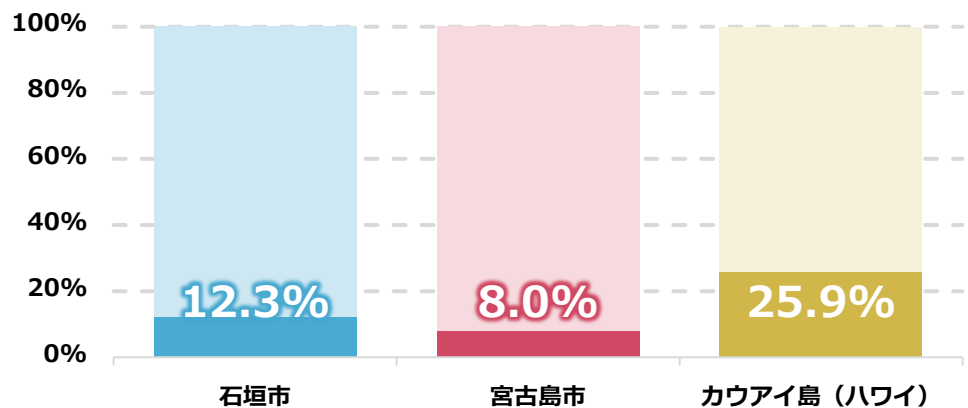


※全産業収入に占める観光業（宿泊業+飲食業）の割合

### (2) 基幹産業度合い（人員ベース）

全産業従事者に占める観光関連産業従事者の割合は、カウアイ島が最も高い。

#### 2. 基幹産業度合い（人員ベース）

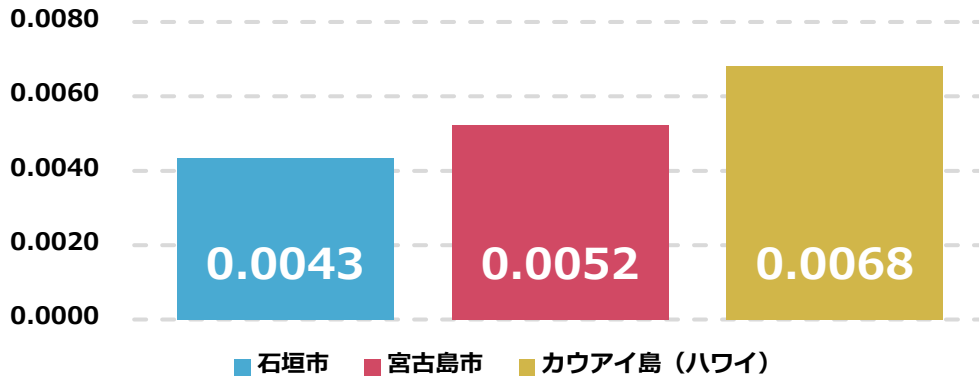


※全産業就業者数に占める観光業（宿泊業+飲食業）就業者数の割合

### (3) 量的ホスピタリティ

観光客一人当たりに対する観光関連産業従事者の数は、カウアイ島で最も高いが3者同程度であり大きな差異はない。

## 3. 量的ホスピタリティ



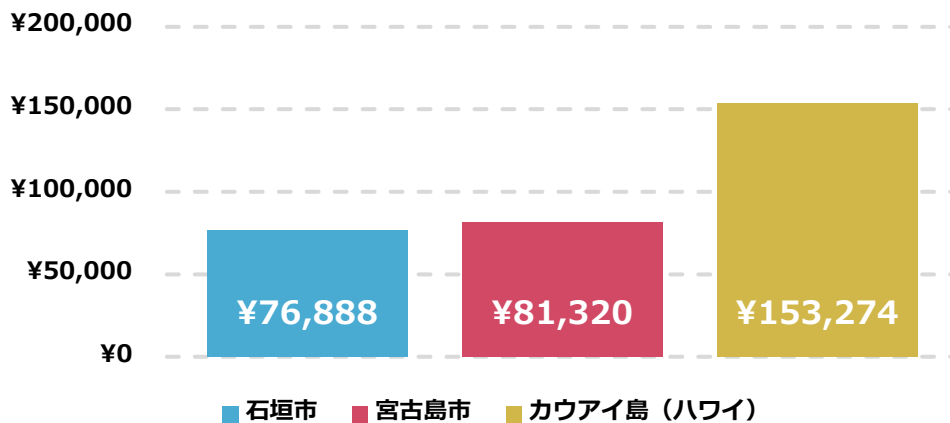
※観光客を一人当たりに対する観光産業従事者数

### (4) 客単価

観光関連産業における収入を観光客数で割った数値を便宜上の客単価としたとき、カウアイ島で15万円\*と最も高く、本市の倍程度の水準にある。

※ 2019年の統計値のため当時のレート(110円/ドル)を参考に換算

## 4. 客単価



## (5) 集客力

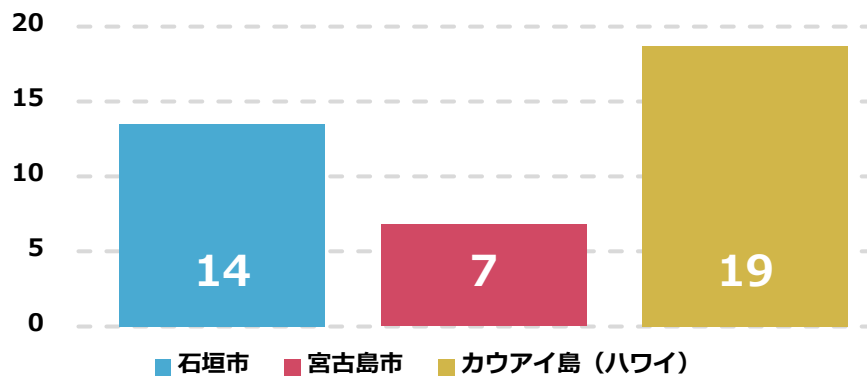
観光客の受皿として都市機能の維持などが必要であり、都市機能の維持には定住人口が必要であることから、定住人口規模と観光客数規模の相関は、一定程度の確からしさが認められているところである。

換言すると、人口規模が大きいほど多くの観光客を呼ぶことができる可能性が高い※こととなり、観光客数/定住人口の値が大きければ大きいほど、ポテンシャル以上の観光客数が集まっており、集客力が高いと言えるものと考えた。

カウアイ島が最も高い結果となったが、本市も比較的高い結果となっている。

※ 必要条件ではないものの、十分条件としては成り立つと考えられる

## 5. 集客力

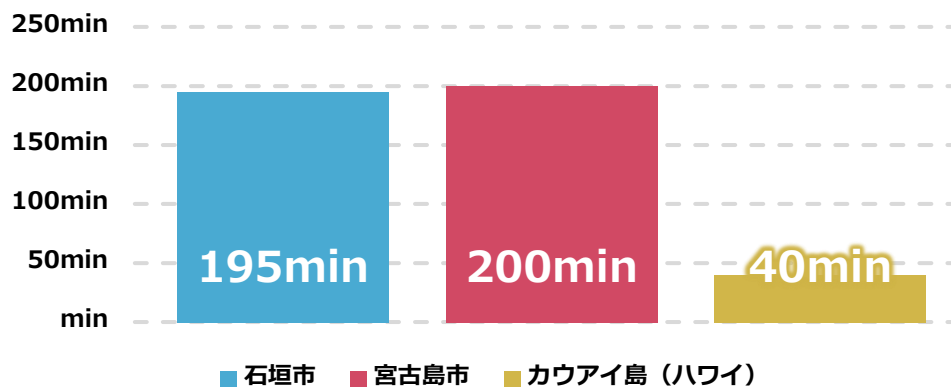


※人口1人当たりの観光客数

## (6) アクセス性

カウアイ島のアクセス性が最も優れており、州都ホノルルからの所要時間は40分となっている。

## 6. アクセス性



※首都圏空港からの所要時間 (カウアイ島は州都空港からの所要時間)